



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 木幡 智清
幹事 星 行夫
SAA 高萩 勝利
会報小委員長 今泉 敏徳

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2795 回 例会 令和元年 11 月 6 日 (水・晴)

2019 - 20 年国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

ゲスト

米山奨学生

朴相俊 (パク・サンジュン) さん

会員卓話 生駒祐健会員

君が代

— 今月はロータリー財団月間です —

ロータリーの目的

木幡 智清 会員

◎会長報告—木幡智清会長

皆さん、こんにちは。11月に入りこの時期らしい気候になって参りました。太陽が出ていると気持ちまで晴れてきます。この晴れている間に被害に遭われた皆様の後片付けが少しでも早く終わることをお祈り申し上げます。最近は朝晩の気温差が大きくなっており風邪、特にインフルエンザの流行が早いです。皆さんも体調管理に充分気を付けて下さい。予防接種も早目に行いましょう。それと今月10日に補助金管理セミナーがユラックス熱海で開催されますので私と越田和会長エレクトで参加致します。磐城農業高等学校から公開文化祭「磐農祭」のご案内が来ております。日時が11月10日、9時30分から14時30分まで、時間がある方は行って見てください。宜しくお願いします。

◎米山奨学生—朴相俊 (パク・サンジュン) さんへ奨学金贈呈



米山奨学生朴相俊さんへ奨学金をお渡し致します。木幡会長、朴君前の方へどうぞ。皆さん、こんにちは。朴相俊です。この前大変な台風が来て当大学の寮でも断水が続き、2週間水が出ませんでした。水の大切さが解りました。今はボランティアで平窪町で清掃を行っています。行きましたら大変な方も多く、自衛隊の皆さんも毎日来ています。なるべく早くインフラが復旧すれば良いなと思っています。今月末に奨学生の発表が郡山で行われます。そこで韓国料理を作ります。去年はキムチチャーハンを作りました。

◎米山功労者表彰

高萩会員へ米山功労者第6回マルチプルが届いておりますので前の方へどうぞ。



◎幹事報告—星 行夫幹事

地区大会に参加された皆さん本当にありがとうございました。反省会も盛り上がり楽しかったです。朴君も出席ありがとうございました。只今回覧中の資料でご案内致します。国際ロータリーからガバナーエレクト事務所より石黒さんの国際協議会社行会申し込みについて案内が来ています。事務所の行事予定も届いています。
・国際ロータリークラブからクラブと会員のロータリーに関する意識調査アンケートのお願いが届いています。
・福島、福島北、福島東、福島西ロータリークラブ合同事務所移転のお知らせが届いています。
・ロータリー日本事務局よりロータリー財団月間リソースのご案内も届いています。
・いわき平ロータリークラブ、いわき平中央ロータリークラブより週報と11月のプログラムが届いています。
・米山記念奨学会から高萩会員にお渡しした寄付感謝状が届いています。

・本日18時30分よりパスト会長会議がミドリで開催されますので宜しくお願いします。
・来週の例会は夜間例会です。例会は19時からですが18時から食事が出来ますので宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会

— 佐藤政司小委員長

本日の出席状況は前頁の通りです。



◇スマイルボックス委員—富岡幸広副委員長

地区大会に出席された会員の方、大変ご苦労様でした。当クラブは最後まで会場に残って参加致しました。富澤、富岡、清水、鈴木、高萩、生駒、小澤、畠山、渡邊公平パストガバナー、渡邊(貴)、赤津(善)、藤田、荒川(義)、木村(義)、木村(博)、根本、今泉、鈴木(修)各会員及び木幡会長、嵐副会長、星幹事、細田副幹事

・前回休んでごめんなさい。吉野会員
・本日早退ごめんなさい。鈴木(雅)、佐藤(政)各会員

◇親睦活動委員会—根本 克頼副委員長

親睦活動委員会より今月誕生者の紹介を致します。荒川義次会員、鈴木敏広会員です。前の方へどうぞ。おめでとうございます。



◎会員卓話—生駒祐健会員

ロータリーの歴史から学ぶロータリー財団 < 26ドル50セントから始まった >

ロータリー財団は、国際ロータリークラブ連合会(後の国際ロータリー)の会長アーチC.クランプ(Archibald Arch) Cooper Klumph 1869 ~ 1951)の夢から始まりました。1917年6月、彼は「寄付による募金をロータリーで作る、世界的規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野で何か良いことをしよう」と米国ジョージア州アトランタ国際大会で提案し、採択されたのです。しかし、彼の熱心さにもかかわらず、寄付はなかなか集まりませんでした。実際、このロータリー基金(ロータリー財団の前身)に最初の寄付があったのは数ヶ月後で、1917年、米国ミズーリ州カンザスシティーRCからの寄付26ドル50セントというささやかなものだったのです。当初、これはクランプ会長への記念品のための購入資金でしたが、カンザスシティーRCが記念品の代わりに基金へ寄付することを決定したものです。次の寄付は、米国カリフォルニア州サンフランシスコRCから寄せられました。しかし、6年経っても基金はやっと700ドルに達したに過ぎなかったそうです。

その後、ようやく5,000ドルまでに成長したロータリー基金は、1928年のミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」として認証され、国際ロータリーから独立した別機関となりました。そして、1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となって、この時、アーチ・クランプが思い描いたプログラムの多くが現在、国際親善奨学金、研究グループ交換(GSE)、マッチンググラントとして生き続けています。1930年、40年代、様々な努力が続きましたが、特定のプログラムが無くてはそのエネルギーも資金も十分発揮することができませんでした。1928年にロータリー財団として正式に発足しましたが、翌年の1929年に大恐慌が発生し、1938年には更なる大不況に遭遇しました。戦争が終わり、1947年、ポール・ハリスが死去し、彼を記念して募金活動を行ったところ100万ドルの目標に対して200万ドル以上が集まり、この資金が本格的な財団活動の出発となりました。現在の財団の資金は7億ドル、日本円で756億円です(以下1ドル108円で換算)。現在まで奉仕活動に使われた資金の総額は20億ドル、2,160億円になります。マッチンググラントは29,000件以上です。1947年に国際親善奨学金制度が設立され、18人の若い人々が選ばれて他国に留学したのが最初で、今日までに115カ国以上から4万7,000人以上の奨学生を援助し、これまでに4億7,600万ドル、514億800万円を支給し民間団体として世界最大の奨学金となっています。

< 財団の概要 >

ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団(The Rotary Foundation of Rotary International: TRF)」で、構成する法人会員は国際ロータリーだけです。また、財団の法人設立定款と細則によって「慈善的、教育的目的のためにのみ運営するもの」と定められており、元RI会長を含むロータリー財団管理委員と事務総長によって運営されています。財団管理委員会は、2007年6月、ロータリー財団の使命を「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」と定め、2011年9月に「ロータリー財団は、寄付を受け、ロータリークラブや地区を通じて実施される人道的・教育関係の活動に資金を分配する非営利財団である」と定義しました。

< 未来の夢計画 >

ロータリー財団は、2017年に創立100周年を迎えました。創立以来、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでしたが、多種多様な関係者の意見を取り入れ、「世界でよいことをしよう」を標語に、未来の夢計画を立案しました。この計画では、ロータリアンが多岐にわたるプロジェクトを実施することで、多大な影響をもたらす、持続可能な成果を生むことができよう、一層効果的で効率のよい支援方法を目指しています。新しい補助金制度は、2013 - 14年度から全世界で導入されています。新補助金は、大別すると、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類になり、両補助金共に①人道的補助金プロジェクト②奨学金③職業研修チームの3つの活動に利用することが可能です。

出席状況	正会員数	50名	カード出席	4名
	本日出席会員数	32名	本日の修正出席率	73.47%